

【簡易公募型プロポーザル方式】

技術提案書の提出に関する公示

技術提案書の提出者を招請するので公示する。
本業務は、電子契約システム対象案件である。

- 1 掲 載 日 令和8年2月27日
- 2 掲載責任者 分任支出負担行為担当官
中国四国農政局中国土地改良調査管理事務所長
野田 英亨
- 3 担当部局 〒731-0221広島県広島市安佐北区可部2丁目6-15
中国四国農政局中国土地改良調査管理事務所保全整備課
(担当者：環境調査専門官)
電話 082-819-1617 (内線42)
- 4 業務内容等
 - (1) 業務名 令和8年度 地域整備方向検討調査 (笠岡湾干拓地域)
整備構想検討その2業務
 - (2) 業務内容
 - ア 作業内容
 - (ア) 準備作業
 - (イ) 受益地調査
 - (ウ) 営農計画調査
 - (エ) 用水計画調査
 - (オ) 施設整備計画調査
 - (カ) 事業効果の概略算定
 - (キ) 整備構想(案)の概定
 - (ク) 点検取りまとめ
 - イ 現地調査 あり
 - ウ 貸与資料 特別仕様書のとおり
 - (3) 履行期限 契約締結の日の翌日から275日後
 - (4) 入札契約方式
簡易公募型プロポーザル方式
 - (5) 本業務は、業務説明書及び技術提案書提出要請書の交付、参加表明書及び技術提案書の提出及び受領に関わる確認並びに見積について原則として電子入札システム（以下「電子入札方式」という。）で行う対象業務である。ただし、電子入札方式によりがたい場合は、業務説明書別記様式1の届け出をすることにより、紙入札方式に代えることができる。
 - (6) 本業務は、契約手続きにかかる書類の授受を、原則として電子契約システムで行う対象

業務である。

なお、電子契約システムによりがたい場合は、業務説明書別記様式1の届け出をすることにより紙契約方式に代えることができる。

(7) 本業務は、ワーク・ライフ・バランス等推進企業を評価する業務である。

5 資格要件、選定基準及び評価基準

(1) 技術提案書の提出者に要求される資格要件

ア 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号、以下「予決令」という。）第70条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

イ 予決令第71条の規定に該当しない者であること。

ウ 中国四国農政局における測量・建設コンサルタント等契約に係る令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格のうちA等級の認定を受けていること。ただし、競争参加資格の認定を受けていない者も下記7により参加表明書を提出することができるが、その者が技術提案書の提出者として選定された場合であっても、技術提案書を提出するためには、技術提案書の提出の時に於いて、当該資格の認定を受けていなければならない。

エ 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。

なお、ウの認定を受けた後に、これらの手続開始が決定された者にあつては、中国四国農政局長が別に定める手続に基づいて一般競争（指名競争）参加資格の再認定を受けている者であることを要する。

オ 農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について（平成19年12月7日付け19経第1314号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から、部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり当該状態が継続している者でないこと。

カ 中国四国農政局長から測量・建設コンサルタント等業務に関し指名停止を受けている期間中でないこと。

(2) 資本関係又は人的関係に関する要件

参加表明書及び技術提案書を提出しようとする複数の者の間に資本関係又は人的関係がないこと。

(3) 当該業務部門

当該業務部門は、AGRIS業務分類コード表に示す下表のとおりとする。

大分類（詳細部門）	中分類（業務設計）	小分類（業務内容）	詳細部門コード
かんがい事業計画	事業計画策定	—	02 17 —

ここで示す「当該業務部門」については、あくまでAGRISシステムで定める業務分野のいずれであるかを示しているだけであり、システムの登録を絶対要件としているものではない。

(4) 技術提案書の提出者を選定するための基準

ア 企業の経験及び能力

当該業務部門における技術者の存在、業務実績及び業務成績、納品後における重大な設計ミスが発覚等による契約不適合の有無、地域貢献活動への支援、災害活動実績、表彰実績、再委託の内容、ワーク・ライフ・バランス等推進に係る認定の取得状況等

イ 技術職員の経験及び能力

予定管理技術者の資格、業務実績又は実務経験、業務成績、継続教育に対する取り組み状況、手持ち業務の状況

(5) 技術提案書の特定のための評価基準

ア 技術職員の経験及び能力

予定管理技術者の資格、業務実績又は実務経験、業務成績、継続教育に対する取り組み状況、手持ち業務の状況

イ 業務実施方針、手法等

事業目的・業務内容に対する理解度、提案内容的確性、創意工夫、実施手順・体制、特定テーマの確実性等

6 業務説明書の交付期間、場所及び方法

業務説明書を電子入札方式により配布する。交付期間は、別表1①に示す日時。

ただし、書面による交付を希望する場合には、あらかじめその旨を3の担当部局に申し込みを行った上で、以下の期間、場所にて交付する。

なお、所定の交付期間、場所及び方法により業務説明書の交付を受けなかった者は、参加表明書を提出できない。

(1) 交付期間 別表1①に示す日時

(2) 交付場所 3に同じ

(3) その他 交付は無料である。

7 参加表明書の提出方法、提出先及び提出期間

(1) 提出方法

ア 電子入札方式の場合

本業務に係る参加表明書の提出を希望する者は、業務説明書に示す参加表明書の様式により作成し、一式を電子入札方式により提出期間内に提出すること。

なお、提出資料についてはPDFファイル形式によるものとし、ファイルの合計容量が10MBを超えないものとする。

また、添付資料等により合計容量を超過する場合は、業務説明書別紙-3の様式1のみを電子入札方式により提出期間内に提出し、その他の資料については紙により提出期間内に必着で7(2)の提出先に持参、郵送(書留郵便に限る)、民間事業者による信書の送達に関する法律(平成14年法律第99号)第2条第9項に規定する特定信書便事業者による同条第2項に規定する信書便(以下「特定信書便」という。)のいずれかの方法にて提出することとし、電送又は電子メールによるものは受け付けない。

イ 紙入札方式の場合

本業務に係る参加表明書の提出を希望する者は、業務説明書に示す参加表明書の様式により作成し、一式を提出期間内に必着で7(2)の提出先に持参、郵送(書留郵便に限る)、特定信書便のいずれかの方法で提出することとし、電送又は電子メールによるものは、受け付けない。

(2) 提出先 3に同じ

(3) 提出期間 別表1②に示す日時

(4) 選定結果の通知方法・時期

参加表明書の選定・非選定結果については、別表1③に示す日までに書面にて通知する。

(5) 上記6に示す業務説明書の交付期間、場所及び方法により業務説明書の交付を受けた事実が確認されない場合は、提出された参加表明書を無効とし、非選定とする。

8 技術提案書の提出方法、提出先及び提出期限

(1) 提出方法

ア 電子入札方式の場合

本業務に係る技術提案書の提出を希望する者は、業務説明書に示す技術提案書の様式により作成し、一式を電子入札方式により提出期間内に提出すること。

なお、提出資料についてはPDFファイル形式によるものとし、ファイルの合計容量が10MBを超えないものとする。

また、添付資料等により合計容量を超過する場合は、業務説明書別紙ー4の様式1のみを電子入札方式により提出期間内に提出し、その他の資料については紙により提出期間内に必着で8(2)の提出先に持参、郵送(書留郵便に限る)、特定信書便のいずれかの方法で提出することとし、電送又は電子メールによるものは受け付けない。

イ 紙入札方式の場合

本業務に係る技術提案書の提出を希望する者は、業務説明書に示す技術提案書の様式により作成し、一式を提出期間内に必着で8(2)の提出先に持参、郵送(書留郵便に限る)、特定信書便のいずれかの方法で提出することとし、電送又は電子メールによるものは、受け付けない。

(2) 提出先 3に同じ

(3) 提出期間 別表1④に示す日時

(4) 特定結果の通知方法・時期

技術提案書の特定・非特定結果については、別表1⑤に示す日までに書面にて通知する。

(5) 技術提案書のヒアリングの有無

技術提案書のヒアリングを行わない。

9 その他

(1) 詳細は、業務説明書による。

(2) 手続における交渉の有無 無

(3) 契約保証金 納付(保管金の取扱店 日本銀行広島支店)

ただし、利付き国債の提供(保管有価証券の取扱店 日本銀行岡山支店)又は金融機関若しくは保証事業会社の保証(取扱官庁 中国四国農政局中国土地改良調査管理事務所)をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、若しくは、履行保証保険契約の締結を行った場合又は業務完了保証人を付した場合は、契約保証金を免除する。

(4) 契約書作成の要否 要

(5) 当該業務に直接関連する他の設計業務の請負契約を当該業務の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無 無

(6) 手続きにおいて使用する言語、通貨及び単位
日本語、日本円、日本の標準時及び計量法（平成4年法律第51号）に限る。

(7) 関連情報を入手するための照会窓口は、3に同じ。

(8) 発注者綱紀保持対策について

農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、農林水産省発注者綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）第10条及び第11条にのっとり、第三者から以下の不当な働きかけを受けた場合は、これを拒否し、その内容（日時、相手方氏名及び働きかけの内容）を記録し、同規程第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会（以下「委員会」という。）に報告し、委員会の調査分析において不当な働きかけと認められた場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページにより公表する。

（不当な働きかけ）

ア 自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼

イ 指名競争入札において自らを指名すること又は他者を指名しないことの依頼

ウ 自らが受注すること又は他者に受注させないことの依頼

エ 公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査基準価格に関する情報聴取

オ 公表前における技術提案書の評価点に関する情報聴取

カ 公表前における発注予定に関する情報聴取

キ 公表前における入札参加者に関する情報聴取

ク その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

(9) 契約締結に関する補足説明事項

本業務に係る契約締結は、令和8年度予算の成立後に行うほか、成立時期が大幅に遅れた際には契約締結を行わない場合があることを条件とするものである。

別表 1

①	業務説明書の交付期間	令和8年2月27日から令和8年3月13日まで（行政機関の休日を除く。）の午前9時から午後4時まで
②	参加表明書の提出期間	令和8年2月28日から令和8年3月13日まで（行政機関の休日を除く。）の午前9時から午後4時まで
③	選定結果の通知時期	令和8年3月18日を予定
④	技術提案書の提出期間	令和8年3月19日から令和8年4月13日まで（行政機関の休日を除く。）の午前9時から午後4時まで
⑤	特定結果の通知時期	令和8年4月21日を予定

注：「行政機関の休日」とは、行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する行政機関の休日をいう。